

**協議会からのご意見を踏まえた
地域づくりや利活用に関する方策案**

1. 広報

【福島潟モデルPJ】

- ・ 検索キーワードが「新潟 鳥」「福島潟 鳥」などとなるよう戦略的に進められると良い。

【全体】

- ・ SNS での発信時に、ハッシュタグを戦略的に統一していくため、改めて分析が重要。発信の依頼時も、統一したキーワードとなるよう留意すべき。

⇒どのようなキーワードで発信すべきかご意見をお願いします。

➤ 今後の検討

【福島潟モデルPJ】

- ・ 潟カメラの活用（YouTube配信など）〔短期〕

【全体】

- ・ フォーラムの検討〔短期〕

⇒えちごエコネットについて、首長をはじめ、企業、団体、学校、住民等の理解と関心を高め、様々な主体が協力、連携して取組を推進していく機運を高めるきっかけとなるようなフォーラムの開催に向けたを検討を進める。

- ・ 授業の一環で学生とコラボしたイベント実施や、学生によるSNS発信〔短期〕
- ・ 多言語化〔短期〕

2. 観光

【全体】

- ・ 観光面やアドベンチャーツーリズムとしても魅力を感じる阿賀野川の実組
⇒資料2-3

【福島潟モデルPJ】

- ・ 自然再生事業や河川整備事業の紹介（利活用への展開可能性も議論）
⇒資料2-4
- ・ レンタサイクルの運用【福島潟モデルPJ】 ⇒資料2-5
- ・ 福島潟で採れる生きものを利用した料理など、福島潟のプロダクトの活用
⇒資料2-5・資料3
- ・ マイマップの各ポイントに野鳥の写真などを載せておくと、図鑑のような役割としても使えるのではないかと。 ⇒資料3

2. 観光

➤ 今後の検討

【福島潟モデルPJ】

- ・アウトドアメーカーとの連携
- ・双眼鏡のレンタル
- ・大人の遠足、大人の体験学習
- ・潟舟の活用
- ・雁晴れ舎の活用
- ・キャンプ場の冬期利用（ウィンターキャンプ）
- ・福島潟堤防を回るサイクリング
- ・月岡温泉からの流入が鍵

【全体】

- ・専門学校等と連携した、エコツアーの養成プログラムやガイドプログラムの検討と、同専門学校の学生の研修
- ・ラムサール条約湿地自治体認証の活用
- ・地域の農産物や文化・歴史の繋がりを紹介するガイドと、ガイドへお金が回るような仕組みづくり

3. 農業

- ・ 自然栽培水田の現地視察
- ・ 新潟市農業SDGs協議会の取組 ⇒ 資料2-6
- ・ 新潟オーガニックフェスタ（長岡）への出展 ⇒ 資料2-7

4. 支援体制の構築

➤ 今後の検討

- ・ 他の生態系ネットワークとの連携
- ・ 生物に限らず様々な分野でのネットワークの拡大を推進

5. その他

➤ 今後の検討

- ・ ビュー福島潟の反対側にサテライト的な休憩場所の設置

6. 環境学習

➤ 今後の検討（環境学習モデルPJとして実施）

- ・ 中学校等の総合的な学習の時間における今後の連携案の検討
- ・ 「小・中・高校の総合的な学習の時間でフィールドワーク」
- ・ 「環境分野に関心のある生徒が集いゼミのように学び合える場づくり」
- ・ 「子ども体験合宿」
- ・ 「地域貢献プロジェクトの環境分野チームの伴走」